

「美作市の観光活性化検討委員会」最終報告会を開催しました

津山信用金庫



(美作市の観光活性化検討委員会委員およびワーキンググループメンバー) (松岡理事長：前列中央右)

当金庫では1年前の平成26年8月6日(水)に、「美作市」、「湯郷温泉旅館協同組合」、「湯郷温泉観光協会」、「湯郷自治会」、「柗湯郷鷺温泉」および信用金庫の中央機関である「信金中央金庫」と共同で「美作市の観光活性化検討委員会」を立ち上げ、「みまさか商工会」のご協力を得ながら湯郷温泉を中心とした美作市の観光活性化に取り組んでまいりました。

この度、本検討委員会の総仕上げとなります「美作市の観光活性化検討委員会」最終報告会を平成27年8月4日(火)に開催し、「報告書」の説明と意見交換を行いました。最終報告会には、検討委員会委員とワーキンググループメンバーの方々にご参加いただきました。

今回の「美作市の観光活性化検討委員会」に関しまして、多大なるご協力を賜りました皆様に対しまして、心からの敬意と感謝を申し上げます。

※報告書は、製本し、関係者および協力者等への配付を予定しています。

※次頁に「最終報告会での主な意見等」と「これまでの活動」を纏めていますのでご覧下さい。

作州地域の活性化応援信用金庫



作州地域のパートナー・よろず相談信用金庫



お問合せ先
津山信用金庫 営業支援部
TEL : 0868-22-4136



<最終報告会での主な意見等>

○松岡理事長（検討委員会委員長）

- ・「地方創生」のためには新資源を探すのではなく、地域の資源を再発見することが大切。
- ・委員には「報告書」記載の役割を計画的に進め、「小さな成功事例」を積み重ねていただきたい。
- ・今すぐできる「心のこもった“おもてなし”」から始めましょう。
- ・美作市の「地方版総合戦略」に少しでも盛り込んでいただきたい。

○萩原美作市長

- ・「地方創生」が叫ばれる中、非常に良い時期に実施していただいた。
- ・アンケートにより「地域事業者の現実」「地域外や地域住民の方々の生の声」が報告書に反映されている。
- ・関係者がそれぞれの役割を果たしてまいりましょう。
- ・「地方版総合戦略」にも取り入れていきたい。

○検討委員会委員

- ・幸せを呼ぶ「黄色い花」を湯郷の街中に植えてイメージアップを図りたい。
- ・今後は「報告書」に基づいて活動していく。
- ・湯郷地域全体が、「おもてなしの心」をもってサービス向上を図らなくてはならない。
- ・外国人観光客や治療目的で当地に来る方を取り込んでいかななくてはならない。

○ワーキンググループメンバー

- ・美作市のもつ施設を有効利用してスポーツ大会を開催してはどうか。
- ・情報の共有化ができる体制整備が必要。

<「美作市の観光活性化検討委員会」の活動>

- (1) 検討委員会（開催回数計3回）
- (2) 事務局会議（平成26年9月から平成27年2月まで毎月1回計6回）
- (3) 湯郷温泉旅館等に対するヒアリング調査（平成26年9月から11月まで計24先）
- (4) 各種アンケート調査（計5回）

対象：湯郷温泉来街者、湯郷 Belle 戦観戦者、観光事業者、他県信用金庫職員、地域住民

- (5) 湯郷温泉等活性化ワーキンググループ会合（計5回）

テーマ：課題の共有、誘客策と観光ルート案の検討、飲食メニューや特産品の検討、

イメージアップ策とスポーツツーリズムの実践策の検討、コンセプトと情報発信策

以上